

重点目標

「よくきき よく考えよう」

ミッション

「対話と協働により、児童一人一人の可能性を引き出し伸ばす」



学校評価アンケートの結果

昨年の12月に実施しました学校評価の結果がまとまりました。今年度は、児童、保護者、教師の三者に同じ内容で質問し、三者の比較ができるようにしました。

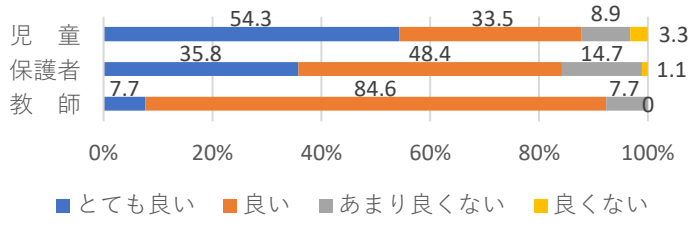
三者とも「とても良い」「良い」を選択した割合が90%以上の問は、Q1「積極的な学習への取り組みをしているか」とQ2「優しい気持ちで接しているか」です。Q1とQ2が良い結果になり大変うれしく思います。今後も子供たちの優しい気持ちと学習意欲を大切にしていきたいと思えます。

また、三者とも「とても良い」「良い」を選択した割合が90%未満の問は、Q6「良く考えて話したり答えたりしているか」、Q9「疑問に思ったことを自分の力で解決しているか」、Q13「読書に親しんでいるか」です。さらに、気になるデータとして、Q5の「話をしっかり聞いているか」の「とても良い」選択した教師が3.8%でした。Q5、Q6、Q9、Q13の課題について、より効果がでるよう改善策に取り組んでいきたいと思えます。

評価（児童・保護者・教師）	自己評価	改善策																				
<p>Q 1：積極的な学習への取り組みをしているか</p> <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>49.5</td><td>44.6</td><td>5.3</td><td>0.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>39.7</td><td>51.9</td><td>7.9</td><td>0.5</td></tr><tr><td>教師</td><td>11.5</td><td>80.8</td><td>7.7</td><td>0</td></tr></tbody></table> <p>■とても良い ■良い ■あまり良くない ■良くない</p>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	49.5	44.6	5.3	0.6	保護者	39.7	51.9	7.9	0.5	教師	11.5	80.8	7.7	0	<p>児童は半数、保護者は4割程度が積極的に学習していると考えている。教師は1割程度がそう捉えているので、子供や保護者の捉えとの違いが顕著である。より積極的な学習への取り組みを期待する教師の思いが表れているので、学級の実態に応じた手立てを講じたい。</p>	<p>授業の導入において、子供の問いを引き出す発問や学習への興味をわき立たせる具体物を提示する。学習内容がわかる、できることも積極的な取り組みのベースとなるので、基礎基本の確実な定着を図る。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	49.5	44.6	5.3	0.6																		
保護者	39.7	51.9	7.9	0.5																		
教師	11.5	80.8	7.7	0																		

評価（児童・保護者・教師）	自己評価	改善策																				
<p>Q 2：優しい気持ちで接しているか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>60.9</td><td>33.6</td><td>4.7</td><td>0.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>53.4</td><td>45.5</td><td>1.0</td><td>0.1</td></tr><tr><td>教師</td><td>23.1</td><td>73.1</td><td>3.8</td><td>0.0</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	60.9	33.6	4.7	0.8	保護者	53.4	45.5	1.0	0.1	教師	23.1	73.1	3.8	0.0	<p>優しい気持ちで生活していると回答する児童が多い。自分自身は優しい気持ちではあるが、相手の気持ちについては考えが及ばない。また、相手に対する言葉づかいや態度が荒く、相手に嫌な思いをさせてしまう場面も多いことから、教師側の評価は若干低い傾向にある。</p>	<p>道徳教育を要として、学校の全教育活動の中で相手を思いやる心を育成する。毎日の学級生活をふり返り、心地よかった出来事や心が温かくなった時間を思い起こさせる。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	60.9	33.6	4.7	0.8																		
保護者	53.4	45.5	1.0	0.1																		
教師	23.1	73.1	3.8	0.0																		
<p>Q 3：体育の学習や体力づくりに意欲的であるか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>68.7</td><td>22.7</td><td>6.9</td><td>1.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td>51.3</td><td>34.6</td><td>13.1</td><td>1.0</td></tr><tr><td>教師</td><td>46.2</td><td>50.0</td><td>0.0</td><td>3.8</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	68.7	22.7	6.9	1.7	保護者	51.3	34.6	13.1	1.0	教師	46.2	50.0	0.0	3.8	<p>体育の学習を楽しみにしている児童は多い。休み時間に校庭や体育館で体を動かす児童も多いが、固定化されている。新体力テストの結果からは、体力・運動能力に関して全国平均より劣る傾向にある。肥満傾向の児童が18%（64名）と高い値を示している。</p>	<p>肥満傾向の児童が積極的に体を動かすことができるような場や時間の設定をする。継続した運動への取り組み（毎週1回の体育の時間における3分間走など）で、課題である走力や持久力を高めていく。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	68.7	22.7	6.9	1.7																		
保護者	51.3	34.6	13.1	1.0																		
教師	46.2	50.0	0.0	3.8																		
<p>Q 4：学校生活を楽しんでいるか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>55.6</td><td>33.8</td><td>7.8</td><td>2.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>56.4</td><td>36.3</td><td>6.8</td><td>0.5</td></tr><tr><td>教師</td><td>46.2</td><td>53.8</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	55.6	33.8	7.8	2.8	保護者	56.4	36.3	6.8	0.5	教師	46.2	53.8	0.0	0.0	<p>おおよその児童は学校生活を楽しんでいると回答しており、教師も学級の全体的な様子を俯瞰し、子供たちは楽しんでいると回答している。児童及び保護者の楽しんでいないとの評価があることから、学習面、生活面、友人関係等、個に応じた指導、声かけが必要である。</p>	<p>子供たちが活躍できる場があり、居場所のある学級づくりを行う。対人関係を学ばせるためにも、コミュニケーション活動を充実させる。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	55.6	33.8	7.8	2.8																		
保護者	56.4	36.3	6.8	0.5																		
教師	46.2	53.8	0.0	0.0																		

評価（児童・保護者・教師）	自己評価	改善策																				
<p>Q 5：話をしっかり聞いているか</p> <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>62.3</td><td>33.5</td><td>4.2</td><td>0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>37.4</td><td>54.2</td><td>8.4</td><td>0</td></tr><tr><td>教師</td><td>3.8</td><td>73.1</td><td>23.1</td><td>0</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	62.3	33.5	4.2	0	保護者	37.4	54.2	8.4	0	教師	3.8	73.1	23.1	0	<p>重点目標「よくききよく考えよう」の評価である。しっかり聞いていると回答する児童が6割を超えているのに対して、教師の評価は1割を切っている。聞くことに対してのシビアな自己評価と、聞かせるための手立てが必要である。</p>	<p>ポイントを絞った説明や教師の発話率を低くすることで、聞くことをより意識させる。話を聞く姿勢やメモの取り方など、学年に応じた話の聞き方を身に付けさせる必要がある。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	62.3	33.5	4.2	0																		
保護者	37.4	54.2	8.4	0																		
教師	3.8	73.1	23.1	0																		
<p>Q 6：良く考えて話したり答えたりしているか</p> <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>46.6</td><td>40.4</td><td>11.9</td><td>1.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>27.5</td><td>51.3</td><td>19.6</td><td>1.6</td></tr><tr><td>教師</td><td>11.5</td><td>53.9</td><td>34.6</td><td>0</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	46.6	40.4	11.9	1.1	保護者	27.5	51.3	19.6	1.6	教師	11.5	53.9	34.6	0	<p>重点目標「よくききよく考えよう」の評価である。授業の中では一人一人が考える時間を確保するものの、あまり考えていないと評価する教師も多いことから、よく考えて話すことについては二極化が顕著である。個々が考えるための手立てを与える必要がある。</p>	<p>よく考えるための手立てとして、構造的な板書や個に応じたヒントカード、対話の習慣化（インプット・アウトプット）など、学級の実態に応じた手立てを講じる。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	46.6	40.4	11.9	1.1																		
保護者	27.5	51.3	19.6	1.6																		
教師	11.5	53.9	34.6	0																		
<p>Q 7：国語の授業を理解しているか</p> <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>52.6</td><td>39.6</td><td>6.1</td><td>1.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td>27.9</td><td>60</td><td>12.1</td><td>0</td></tr><tr><td>教師</td><td>11.5</td><td>73.1</td><td>15.4</td><td>0</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	52.6	39.6	6.1	1.7	保護者	27.9	60	12.1	0	教師	11.5	73.1	15.4	0	<p>良く理解していると回答する児童が5割を超えているが、教師の評価は1割程度にとどまっている。ふり返りなどを通して自分自身の力をしっかり認識すること、既習事項を活用するなどして、学んだことがしっかり定着するようにしたい。</p>	<p>ふり返りの時間は、学習をまとめてわかったことを使って、視点を変えて書いたり別な言葉に言い換えて書いたりする時間であることをより意識して指導すること。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	52.6	39.6	6.1	1.7																		
保護者	27.9	60	12.1	0																		
教師	11.5	73.1	15.4	0																		

評価（児童・保護者・教師）	自己評価	改善策																				
<p>Q 8：算数の授業を理解しているか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>54.3</td><td>33.5</td><td>8.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>35.8</td><td>48.4</td><td>14.7</td><td>1.1</td></tr><tr><td>教師</td><td>7.7</td><td>84.6</td><td>7.7</td><td>0</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	54.3	33.5	8.9	3.3	保護者	35.8	48.4	14.7	1.1	教師	7.7	84.6	7.7	0	<p>良く理解していると回答する児童が5割を超えているが、教師の評価は1割を切っている。ふり返りなどを通して自分自身の力をしっかり認識すること、既習事項を活用するなどして、学んだことがしっかり定着するようにしたい。</p>	<p>ふり返りの時間は、学習をまとめてわかったことを使って、応用問題を解いたり、多くの問題に挑戦したりする時間であることをより意識して指導すること。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	54.3	33.5	8.9	3.3																		
保護者	35.8	48.4	14.7	1.1																		
教師	7.7	84.6	7.7	0																		
<p>Q 9：疑問に思ったことを自分の力で解決しているか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>30.5</td><td>51.1</td><td>15.8</td><td>2.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>18.9</td><td>57.4</td><td>21.6</td><td>2.1</td></tr><tr><td>教師</td><td>3.8</td><td>65.4</td><td>30.8</td><td>0</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	30.5	51.1	15.8	2.6	保護者	18.9	57.4	21.6	2.1	教師	3.8	65.4	30.8	0	<p>教師の評価数値が低い値である。学年に応じた自力解決の力を身に付けさせることができなかった、または自力解決の時間を確保することができなかったことが課題として残る。</p>	<p>的確な探究課題の設定や子供たちが自力解決していけるような探究のプロセスについて教師自身が研修し、子供たちとともに探究学習を楽しむ。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	30.5	51.1	15.8	2.6																		
保護者	18.9	57.4	21.6	2.1																		
教師	3.8	65.4	30.8	0																		
<p>Q 10：自分には良いところがあるか</p>  <table><thead><tr><th>評価者</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>47.1</td><td>37.4</td><td>9.4</td><td>6.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>22.1</td><td>53.2</td><td>20.5</td><td>4.2</td></tr><tr><td>教師</td><td>15.4</td><td>76.9</td><td>7.7</td><td>0</td></tr></tbody></table>	評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	47.1	37.4	9.4	6.1	保護者	22.1	53.2	20.5	4.2	教師	15.4	76.9	7.7	0	<p>約半数の児童が「とてもある」、85%が「ある」と回答している。全国学調における調査結果は低い数値であったが、全学年が回答した結果、高い値となった。保護者や教師がそれぞれの子供の良さを見取り、価値づけていくことが必要である。</p>	<p>道徳教育を要として、学校の全教育活動の中で、低学年から自分の良さに気付き、良さを生かし、良さを伸ばしていく指導を積み重ねていく。</p>
評価者	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	47.1	37.4	9.4	6.1																		
保護者	22.1	53.2	20.5	4.2																		
教師	15.4	76.9	7.7	0																		

評価（児童・保護者・教師）	自己評価	改善策																				
<p>Q 1 1：健康に気をつけて生活しているか</p>  <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>51.3</td><td>34.1</td><td>10.2</td><td>4.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td>35.1</td><td>46.6</td><td>17.8</td><td>0.5</td></tr><tr><td>教師</td><td>30.8</td><td>65.4</td><td>3.8</td><td>0</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	51.3	34.1	10.2	4.4	保護者	35.1	46.6	17.8	0.5	教師	30.8	65.4	3.8	0	<p>各学年における体育指導や学級活動における保健、給食、食育指導が功を奏し、高評価である。また、熱中症対策や感染症対策など、学校全体で時期や場面に応じた指導を行ってきた成果である。</p>	<p>体育部、保健部、給食部、安全部等が連携し、子供たちにタイムリーな話題を提供したり生活の在り方を投げかけたりすることで、自ら考えて生活することができるようにする。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	51.3	34.1	10.2	4.4																		
保護者	35.1	46.6	17.8	0.5																		
教師	30.8	65.4	3.8	0																		
<p>Q 1 2：家庭学習に取り組んでいるか</p>  <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>59.8</td><td>32.7</td><td>4.7</td><td>2.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>50.2</td><td>41.4</td><td>6.8</td><td>1.6</td></tr><tr><td>教師</td><td>23.1</td><td>53.8</td><td>15.4</td><td>7.7</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	59.8	32.7	4.7	2.8	保護者	50.2	41.4	6.8	1.6	教師	23.1	53.8	15.4	7.7	<p>児童、保護者はしっかりと取り組んでいるとの回答が5割を超えるが、教師は2割程度にとどまっている。学習内容を振り返るなどして、より質の高い、学年や個に応じた家庭学習の取り組みを積み重ねていきたい。</p>	<p>お手本となる自主学習ノートの紹介や家庭学習カードでの見取りを継続する。自分自身で取り組みをふり返り、家庭学習の質を高めていく。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	59.8	32.7	4.7	2.8																		
保護者	50.2	41.4	6.8	1.6																		
教師	23.1	53.8	15.4	7.7																		
<p>Q 1 3：読書に親しんでいるか</p>  <table><thead><tr><th>対象</th><th>とても良い</th><th>良い</th><th>あまり良くない</th><th>良くない</th></tr></thead><tbody><tr><td>児童</td><td>49.3</td><td>26</td><td>12.5</td><td>12.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>20.5</td><td>30</td><td>37.4</td><td>12.1</td></tr><tr><td>教師</td><td>23.1</td><td>65.4</td><td>11.5</td><td>0</td></tr></tbody></table>	対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない	児童	49.3	26	12.5	12.2	保護者	20.5	30	37.4	12.1	教師	23.1	65.4	11.5	0	<p>とても親しんでいると答える児童は多いが、親しんでいるまでを合わせると、児童が7割に対して教師は9割である。家庭での読書は二極化しているが、学校においては学校図書館の活用がされており、学級全体として読書に親しんでいる様子がうかがえる。</p>	<p>朝の登校後の時間や昼のみんなで読書タイムを活用し、読書の時間を確保する。国語科における読書教材において図書室の蔵書を活用し、読書の幅を広げる。</p>
対象	とても良い	良い	あまり良くない	良くない																		
児童	49.3	26	12.5	12.2																		
保護者	20.5	30	37.4	12.1																		
教師	23.1	65.4	11.5	0																		